



2026年2月26日
東海電子株式会社

政府のオープンデータ・運輸安全オープンデータ活用
MANGA!プロジェクト
“運輸安全 Comics” 開始

自動点呼システム、運行管理システム、安全運転管理システム、労働安全衛生システムを開発・販売する東海電子株式会社(本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本哲也)は、この度、法務省の裁判データや国土交通省等の政府データをつかった “運輸安全 Comics” プロジェクトを開始いたします。

国土交通省の事業用自動車事故調査委員会は、社会的影響の大きい事業用自動車の重大事故について、事故原因の究明と再発防止策の提言を目的とした事故調査報告書を公表しています。しかしながら、本調査には、実際その後刑事裁判で明らかになる動機や状況証拠等の事実認定、真の原因、責任の所在等が含まれていません。

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism				
事業用自動車事故調査委員会				
報告書	報告書			
1. 公表済みの報告書 2. 調査の進捗状況	公表済みの報告書			
お知らせ	特別重要調査対象			
1. 事故調査委員会について 2. 事故調査委員会10年総括 3. 啓発コンテンツ公開ページ (公財)交通事故総合分析センターHP)	発生年月日	発生場所	報告書名称	公表年月日 報告書
	平成26年9月26日	神奈川県平塚市 小田原厚木道路	貸切バスの追突事故【概要版】 貸切バスの追突事故	平成27年11月11日公表
	平成27年1月9日	東京都大田区 都通421号線	乗合バスの衝突事故【概要版】 乗合バスの追突事故	平成28年5月27日公表
	平成27年7月14日	三重県四日市市 東名阪自動車道	貸切バスの衝突事故【概要版】 貸切バスの衝突事故	平成29年2月28日公表
	平成28年1月7日	東京都小金井市 都道134号線	乗合バスの衝突事故【概要版】 乗合バスの衝突事故	平成29年5月23日公表
	平成28年1月15日	長野県北佐久郡 軽井沢町 国道18号線	貸切バスの転落事故【概要版】 貸切バスの転落事故	平成29年7月5日公表
	平成28年3月17日	広島県東広島市 山陽自動車道	中型トラックの追突事故【概要版】 中型トラックの追突事故	平成29年12月6日公表

一方、事故に起因する刑事裁判の判決文は、[裁判所の判例データベース](#)を通じて広く公開されています。

裁判所

裁判例検索

トップ / 裁判例検索

検索条件指定画面
裁判所のタブをクリックすると裁判所ごとの検索画面へ切り替わり、裁判例を絞り込み検索することができます。

> 掲載判例の説明 > 使い方

統合検索
 最高裁判所
 高等裁判所
 下級裁判所(速報)
 行政事件
 労働事件
 知的財産

統合検索

全文検索

スペース区切りで入力されたいずれかの語を含む結果を表示する。

さらに、下記の語(追加入力)を含む結果だけを表示する。

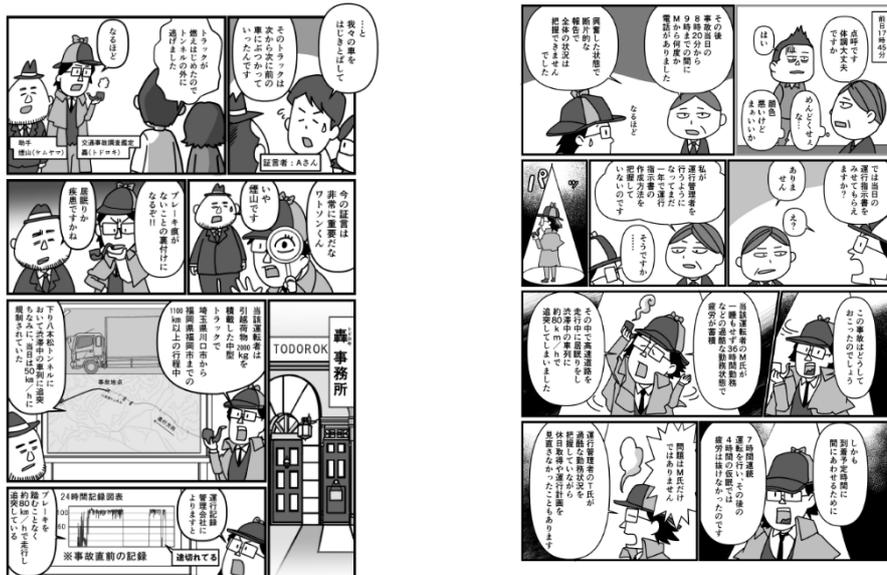
いずれも運輸事業者の安全管理に資する極めて重要な公的データでありながら、その専門性と分量のゆえに、安全教育の現場で十分に活用されているとは言いがたいのが実情です。

折しも、2016年12月に施行された「官民データ活用推進基本法」をはじめ、政府は官民データの適正かつ効果的な活用を国家戦略として推進しています。2025年6月にはデジタル行財政改革会議が「データ利活用制度の在り方に関する基本方針」を決定し、行政が保有するデータの利活用と社会実装の加速が改めて掲げられました。

このような背景のもと、当社はウェブメディア「運輸安全 Journal」(<https://transport-safety.jp/>) において、新たに「運輸安全 Comics」を開始します。

「運輸安全 Comics」は、国土交通省が公表する事業用自動車事故調査報告書と、裁判所が公開する当該事故の刑事裁判判決文という、二つの公的データソースを横断的に読み解き、事故の発生から裁判に至るまでの全容を一本のストーリー漫画として再構成するものです。報告書が明らかにする事故原因・構造的要因と、判決文が示す法的責任の所在を統合的に描くことで、単なる事故の再現にとどまらない、運転者・運行管理者双方にとっての実践的な安全教育コンテンツを目指します。

第1弾として公開するのは、2016年(平成28年)3月17日に広島県東広島市の山陽自動車道・八本松トンネルで発生した多重衝突・火災事故の事例です。



<https://transport-safety.jp/archives/30757>

本事故は、渋滞車列に中型トラックがブレーキをかけることなく追突し、車両12台が絡む多重事故に発展、5台が炎上して2名が死亡、67名以上が負傷した重大事故です。事故調査により、運転者の36時間にわたる無睡眠連続勤務による居眠り運転が直接原因であったこと、さらに運行管理者による点呼の形骸化、運行指示書の未作成、過酷な勤務実態の未把握といった管理体制の構造的欠陥が背景にあったことが明らかになっています。刑事裁判では、運転者に懲役4年の実刑判決が、運行管理者にも懲役1年6カ月(執行猶予3年)の有罪判決がそれぞれ下されました。本漫画ではこれらの経緯に若干のデフォルメを加えながら、わかりやすいストーリー仕立てにすることで、当該事案をより多面的に見る視点を提供いたします。

<今回のタイトルについて>

項目	内容
タイトル	とある運行管理者の1年6ヶ月の有罪判決は重いのか？ 軽いのか？
公開場所	運輸安全 Journal https://transport-safety.jp/archives/30757
原典資料	○事業用自動車事故調査報告書 山陽自動車道 八本松トンネル多重衝突・火災事故 https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/jikochousa/pdf/1644104.pdf ○裁判所判例 運転者 M 氏判決文 https://www.courts.go.jp/assets/hanrei/hanrei-pdf-86430.pdf ○裁判所判例 運送会社及び運行管理者 T 氏判決文 https://www.courts.go.jp/assets/hanrei/hanrei-pdf-86431.pdf
今後の展開	概ね3カ月ごとに新規事例を追加予定
価格	当面無料公開ですが、いつ有料になるか、サイト上削除されるかわかりません。 当社のお客様のみ、ご自由にお使いください。

「運輸安全 Comics」は概ね3カ月ごとに新たな事例を追加し、シリーズとして拡充してまいります。当社は、運輸事業の安全を支えるハードウェアとクラウドシステムの提供にとどまらず、「運輸安全 Journal」を通じた情報発信により、業界全体の安全文化の醸成に貢献してまいります。

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部
東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル 203
E-mail: info@tokai-denshi.co.jp
<http://www.tokai-denshi.co.jp>